

2025年2月期 第3四半期 連結決算概要

1.業績

(単位：百万円)

	2024年2月期 第3四半期	2025年2月期 第3四半期	増減	2025年2月期 (予想)
売上高	28,769	35,090	+6,320	46,260
営業利益	1,078	1,203	+124	1,800
経常利益	1,190	1,276	+85	1,800
親会社株主に帰属する中間純利益	812	999	+186	1,210
1株当たり四半期純利益	216円20銭	265円78銭	+49円58銭	321円78銭

2. セグメント別売上高・営業利益

(単位：百万円)

		2024年2月期 第3四半期	2025年2月期 第3四半期	増減
調剤薬局事業	売上高	17,706	18,182	+476
	営業利益	1,009	850	△ 159
ヘルスケア事業	売上高	5,845	6,066	+220
	営業利益	160	195	+35
医薬品卸事業	売上高	5,081	10,696	+5,615
	営業利益	99	226	+126
不動産事業	売上高	136	145	8
	営業利益	98	100	1
調整額	売上高	-	-	-
	営業利益	△ 288	△ 170	+117
合計	売上高	28,769	35,090	+6,320
	営業利益	1,078	1,203	+124

3. 損益計算書

(単位：百万円)

	2024年2月期 第3四半期	2025年2月期 第3四半期	増減
売上高	28,769	35,090	+6,320
売上総利益	3,166	4,134	+967
販管費及び一般管理費	2,088	2,931	+842
営業利益	1,078	1,203	+124
経常利益	1,190	1,276	+85
有価証券売却益	85	111	+25
その他特別利益	2	187	185
特別損失	4	6	0
税金等調整前四半期純利益	1,274	1,569	+295
法人税等	427	539	+111
四半期純利益	846	1,029	+182
親会社株主に帰属する四半期純利益	812	999	+185

4. 貸借対照表

(単位：百万円)

	2024年2月期 第3四半期	増減		2024年2月期 第3四半期	2025年2月期 第3四半期	増減
(資産の部)			(負債の部)			
流動資産	16,722	+2,730	買掛金等	5,231	6,395	+1,163
現金及び預金	7,700	+1,054	短期借入金	1,345	1,075	△ 270
売掛金等	6,060	+1,225	1年以内返済予定長期借入金	2,349	2,414	+63
商品	1,752	+302	長期借入金	5,717	6,595	+878
その他	1,209	+146	その他の負債	3,174	4,369	+1,195
固定資産	14,936	+1,051	負債合計	17,818	20,849	+3,030
建物及び構築物	5,142	+363	(純資産の部)			
土地	3,576	+32	株主資本	12,908	13,728	+820
のれん	692	+163	その他の包括利益累計額	332	232	△ 99
投資その他の資産	4,959	+116	非支配株主持分	600	630	+31
その他	564	+375	純資産合計	13,841	14,591	+751
資産合計	31,659	+3,780	負債純資産合計	31,659	35,441	+3,780



2025年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2025年1月10日

上場会社名 株式会社メディカルー光グループ 上場取引所 東
コード番号 3353 URL <https://www.m-ikkou.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 南野 利久
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 財務・IR部長 (氏名) 遠山 邦彦 (TEL) 059(226)1193
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 無
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年2月期第3四半期の連結業績(2024年3月1日~2024年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年2月期第3四半期	35,090	22.0	1,203	11.6	1,276	7.2	999	23.0
2024年2月期第3四半期	28,769	13.1	1,078	52.8	1,190	34.1	812	36.0

(注) 包括利益 2025年2月期第3四半期 929百万円(△3.1%) 2024年2月期第3四半期 959百万円(56.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年2月期第3四半期	265.78	—
2024年2月期第3四半期	216.20	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年2月期第3四半期	35,441	14,591	39.4
2024年2月期	31,659	13,841	41.8

(参考) 自己資本 2025年2月期第3四半期 13,960百万円 2024年2月期 13,240百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年2月期	—	20.00	—	25.00	45.00
2025年2月期	—	25.00	—	—	—
2025年2月期(予想)	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2025年2月期の連結業績予想(2024年3月1日~2025年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	46,260	15.9	1,800	15.4	1,800	2.7	1,210	16.4	321.78

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年2月期3Q	4,070,000株	2024年2月期	4,070,000株
② 期末自己株式数	2025年2月期3Q	308,273株	2024年2月期	311,873株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年2月期3Q	3,759,802株	2024年2月期3Q	3,757,571株

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2024年3月1日～2024年11月30日)における我が国の経済は、物価上昇が続くなか、個人消費は持ち直しの動きがみられ、企業収益も総じて改善基調にあり、景気は緩やかに回復してきたものとみられております。今後は、国内の段階的な金融正常化や米国の新政権による政策転換等、国内外の様々な環境変化が景気に及ぼす影響を注視していく必要があるものの、国内の物価高がやや落ち着き、個人所得の改善から個人消費は持ち直し、国内景気は緩やかな回復基調が続くとみられております。

このような環境のもと、当社グループは足元の事業を取り巻く大きな環境変化に迅速に取り組むとともに、患者さま、利用者さまの安全確保にも引き続き注力し、事業活動の継続に努めてまいりました。

主力の調剤薬局事業において、当社中核子会社である株式会社メディカル光が、2024年6月に株式会社京寿薬品(本社：京都府京田辺市)を連結子会社化(孫会社化)しました。更に同年10月には三重県薬剤師会が運営する会営薬局津調剤薬局と同久居調剤薬局の事業譲受けを実施しました。

また、ヘルスケア事業において、当社子会社である株式会社メディカルケア光が、2024年7月に東京都で介護事業を展開する共創未来メディカルケア株式会社より、介護施設の事業譲受けを実施しました。本件により、当社グループのヘルスケア事業が東京都内で展開されることとなりました。

更に、医薬品卸事業において、株式会社メディカル光が、同年10月に株式会社佐藤薬品販売(本社：埼玉県川口市)、株式会社若松薬品(本社：香川県高松市)を連結子会社化(孫会社化)しました。加えて翌11月には、京葉沢井薬品株式会社(本社：千葉県芝山町)も同じく連結子会社化(孫会社化)に向けての協議を開始する旨、決定しました。

このように当第3四半期連結累計期間において、当社グループは「調剤薬局」「ヘルスケア」「医薬品卸」の主力3事業全てにおいて、積極的なM&Aを展開し規模拡大を進めることで、グループ全体において一層強固な事業基盤構築に向け着実に布石を打ってまいりました。今後も、厳しい経営環境の中、M&Aを中心とする事業規模拡大を図り、2028年度中には、連結売上高600億円の達成を目指す方針を掲げております。

なお、グループ全体の拠点網は、当第3四半期末において、東京都を含む1都1道2府22県の地域に拡大しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の当社グループの業績は、売上高35,090百万円(前年同期比22.0%増)、営業利益1,203百万円(前年同期比11.6%増)、経常利益1,276百万円(前年同期比7.2%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は999百万円(前年同期比23.0%増)となりました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

(調剤薬局事業)

調剤薬局事業におきましては、当第3四半期連結累計期間の既存店舗の処方箋応需枚数は前年同期比減少しました。前年同期は5月に新型コロナウイルス感染症の5類感染症へ移行した影響もあり、受診抑制の緩和が進み処方箋枚数の増加に繋がったことが背景にあります。一方、株式会社京寿薬品の連結子会社化や三重県薬剤師会の会営薬局2店舗の事業譲受け等が寄与し、部門全体の売上高は増収を確保しております。しかしながら、収益面においては薬価改定の影響等が大きく、M&Aが収益をカバーする状況には至りませんでした。

この結果、売上高18,182百万円(前年同期比2.7%増)、営業利益850百万円(前年同期比15.7%減)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの調剤薬局は合計99店舗となっております。

(ヘルスケア事業)

ヘルスケア事業におきましては、居住系介護サービスおよび在宅系介護サービスともに、既存施設の入居率や稼働率は概ね横這いに推移したものの、施設単価の上昇に加え、東京都内の介護施設の事業譲受け効果もあり、部門全体の売上高は増収を確保しました。また、施設運営に不可欠な人材の確保にも注力し施設利用者が快適に過ごせる介護サービスの実現に努めてまいりました。

この結果、売上高6,066百万円(前年同期比3.8%増)、営業利益195百万円(前年同期比22.4%増)となりました。なお、当第3四半期末における当社グループの居住系介護サービスは、合計43施設(居室数1,435室)、在宅系介護サービスにおいては、通所介護事業所26ヶ所、居宅介護支援事業所16ヶ所、小規模多機能ホーム11施設、福祉用具レンタル・販売5拠点、訪問介護事業所8ヶ所、訪問看護事業所3ヶ所、ショートステイ1施設と、幅広く介護サービスを提供しております。

(医薬品卸事業)

医薬品卸事業におきましては、2023年4月からの急激な原価率の上昇が当第3四半期連結累計期間も続いており、収益環境は一層厳しさを増しております。こうしたなか、2023年9月に実施しました株式会社メディカルー光と西部沢井薬品株式会社との事業統合効果を早期に発揮すべく、組織体制の見直しと販売力の強化に注力してまいりました。また、2024年10月に株式会社佐藤薬品販売と株式会社若松薬品を子会社化し、原価の高騰を規模拡大によりカバーしていく体制を構築してまいりました。

この結果、売上高10,696百万円(前年同期比110.5%増)、営業利益226百万円(前年同期比128.6%増)となりました。(内部売上を含む売上高は11,306百万円となり、前年同期比で96.7%増加しました。)

(不動産事業)

不動産事業におきましては、賃貸不動産からの収入によって、売上高145百万円(前年同期比6.6%増)、営業利益100百万円(前年同期比2.1%増)となりました。

また、投資事業におきましては、投資有価証券売却益111百万円を計上しております。

なお、セグメント間の内部売上高として613百万円を消去するとともに、全社における共通経費として170百万円を計上しております。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は35,441百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,781百万円増加いたしました。

流動資産の合計は19,452百万円となり、前連結会計年度末と比較して2,730百万円増加いたしました。これは主に、売掛金が1,227百万円、現金及び預金が1,055百万円、商品が302百万円それぞれ増加したこと等によるものです。固定資産の合計は15,988百万円となり、前連結会計年度末と比較して1,051百万円増加いたしました。これは主に、有形固定資産のその他(純額)が371百万円、建物及び構築物(純額)が364百万円、のれんが164百万円それぞれ増加したこと等によるものです。

負債合計は20,849百万円となり、前連結会計年度末と比較して3,031百万円増加いたしました。これは主に、流動負債のその他が1,354百万円、買掛金が1,015百万円、長期借入金(1年内返済予定を含む)及び短期借入金が672百万円、電子記録債務が202百万円それぞれ増加したものの、賞与引当金が253百万円減少したこと等によるものです。

純資産合計は14,591百万円となり、前連結会計年度末と比較して750百万円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が810百万円増加し、その他有価証券評価差額金が100百万円減少したこと等によるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2025年2月期の業績予想につきましては、2024年4月5日公表の数値から変更はありません。当第3四半期連結累計期間に公表しましたM&A等が業績に与える影響は現在精査中であり、今後の状況により、公表すべき事項が生じた場合には、速やかに情報開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,700,231	8,755,914
受取手形	10,959	8,814
売掛金	6,049,119	7,276,870
商品	1,752,891	2,055,205
その他	1,212,036	1,362,340
貸倒引当金	△2,488	△6,307
流動資産合計	16,722,750	19,452,837
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,142,822	5,507,671
土地	3,576,751	3,608,805
その他(純額)	396,990	768,293
有形固定資産合計	9,116,563	9,884,770
無形固定資産		
のれん	692,838	857,101
その他	167,456	171,391
無形固定資産合計	860,294	1,028,493
投資その他の資産		
投資有価証券	2,097,193	2,151,466
関係会社株式	10,000	-
敷金及び保証金	1,222,452	1,268,220
その他	1,630,236	1,655,596
投資その他の資産合計	4,959,882	5,075,283
固定資産合計	14,936,740	15,988,547
資産合計	31,659,490	35,441,384
負債の部		
流動負債		
支払手形	125,890	72,620
買掛金	4,772,001	5,787,036
電子記録債務	333,540	535,625
短期借入金	1,345,000	1,075,000
1年内返済予定の長期借入金	2,349,864	2,414,088
未払法人税等	380,593	397,094
賞与引当金	276,259	22,360
その他	820,856	2,174,922
流動負債合計	10,404,006	12,478,749
固定負債		
長期借入金	5,717,480	6,595,922
リース債務	166,606	176,495
退職給付に係る負債	1,016,554	1,095,297
その他	513,653	503,308
固定負債合計	7,414,294	8,371,023
負債合計	17,818,300	20,849,772

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2024年2月29日)	当第3四半期連結会計期間 (2024年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	917,000	917,000
資本剰余金	1,081,749	1,085,044
利益剰余金	11,447,448	12,257,915
自己株式	△537,933	△531,724
株主資本合計	12,908,264	13,728,236
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	332,990	232,857
退職給付に係る調整累計額	△406	△101
その他の包括利益累計額合計	332,584	232,755
非支配株主持分	600,341	630,620
純資産合計	13,841,190	14,591,612
負債純資産合計	31,659,490	35,441,384

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2023年3月1日 至2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2024年3月1日 至2024年11月30日)
売上高	28,769,800	35,090,383
売上原価	25,603,354	30,955,638
売上総利益	3,166,445	4,134,745
販売費及び一般管理費	2,088,022	2,931,523
営業利益	1,078,423	1,203,222
営業外収益		
受取利息	1,085	3,653
受取配当金	26,122	42,187
助成金収入	101,061	64,721
その他	32,378	45,971
営業外収益合計	160,647	156,533
営業外費用		
支払利息	39,322	44,559
売買有価証券運用損	-	7,144
その他	9,070	31,395
営業外費用合計	48,393	83,099
経常利益	1,190,677	1,276,655
特別利益		
固定資産売却益	-	77,852
投資有価証券売却益	85,857	111,058
補助金収入	2,480	-
受取和解金	-	110,000
特別利益合計	88,337	298,910
特別損失		
固定資産売却損	369	207
固定資産除却損	2,099	1,473
固定資産圧縮損	2,480	-
投資有価証券売却損	-	808
賃貸借契約解約損	-	3,766
特別損失合計	4,949	6,256
税金等調整前四半期純利益	1,274,066	1,569,309
法人税、住民税及び事業税	623,532	659,620
法人税等調整額	△196,417	△119,927
法人税等合計	427,114	539,693
四半期純利益	846,951	1,029,616
非支配株主に帰属する四半期純利益	34,528	30,308
親会社株主に帰属する四半期純利益	812,423	999,307

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
四半期純利益	846,951	1,029,616
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	116,206	△100,162
退職給付に係る調整額	△3,801	304
その他の包括利益合計	112,405	△99,857
四半期包括利益	959,357	929,758
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	924,804	899,479
非支配株主に係る四半期包括利益	34,552	30,278

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,706,171	5,845,728	5,081,873	136,028	28,769,800	—	28,769,800
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	666,369	3,491	670,310	△670,310	—
計	17,706,171	5,846,178	5,748,243	139,519	29,440,111	△670,310	28,769,800
セグメント利益	1,009,102	160,092	99,124	98,903	1,367,223	△288,799	1,078,423

(注) 1 セグメント利益の調整額△288,799千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用887,379千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	調剤薬局 事業	ヘルスケア 事業	医薬品卸 事業	不動産事業	計		
売上高							
外部顧客への売上高	18,182,530	6,066,215	10,696,580	145,056	35,090,383	—	35,090,383
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	450	609,709	3,491	613,650	△613,650	—
計	18,182,530	6,066,665	11,306,290	148,547	35,704,034	△613,650	35,090,383
セグメント利益	850,471	195,941	226,560	100,937	1,373,910	△170,688	1,203,222

(注) 1 セグメント利益の調整額△170,688千円には、各報告セグメントに配分していない全社費用872,901千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2023年3月1日 至 2023年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年3月1日 至 2024年11月30日)
減価償却費	455,151千円	456,510千円
のれんの償却額	139,065千円	93,440千円